

市内保育所・園、幼稚園、小中学校の保護者の皆様 地域の皆様へ
教育センターだより【 12号】

令和元年11月22日発行



518-0485
 三重県名張市百合が丘西5番町25番地
 事務室・教育よろず相談 1F
 Tel 0595-64-8801 Fax 0595-64-8802
 E-mail:kyouiku-ce@city.nabari.mie.jp
 minakuru01@nabari-mie.ed.jp
 ホームページ <http://www.nabari-mie.ed.jp/minakuru/>

適応指導教室（さくら教室）2F
 Tel 0595-63-7830 Fax 0696-63-7830
 E-mail:sakura@nabari-mie.ed.jp

学校ボランティア室 1F
 Tel 0595-64-8864 Fax 0595-64-8802

名張市小中学校音楽会

小学校の部 10月25日(金)・中学校の部 11月7日(木)

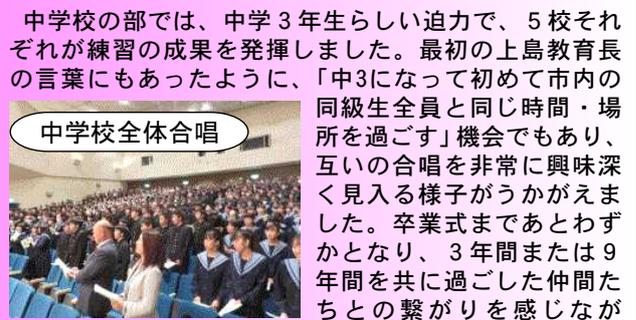
10月、11月の2回にわたり、小中音楽会が行われました。心地よい緊張感の中で、小学校も中学校も、それぞれの学校がしっかりと練習の成果を発揮することができたように思います。同時に、教室や体育館とは違う、特別なステージで、多くの人の前で歌うという経験は、本当に良い思い出となり、今後いろいろな活動や取組をしていく上での自信にもつながったのではないのでしょうか。1人ひとりが精一杯やる、そのエネルギーをなかまとともに結集する、その達成感や連帯感をこれからもいろいろな場面で活かして欲しいと思います。



小学校全体合唱

小学校の部では、午前も午後も終始感動する歌声が聴かれました。どの学校も人数の違いはあるものの、それぞれの個性を活かし、合唱だけでなく、太鼓やリーダーの合奏など、一生懸命に演奏できました。

また、聴く態度も「さすが5年生」といった感じで、しっかり各校の演奏を聴き、大きな拍手で互いを讃え合う姿は、音楽会全体の雰囲気を一層素晴らしいものにしてくれたように思います。この音楽会を観ていると、5年生の人たちは高学年として日常的にそれぞれの学校で良いお手本となり、リーダーシップを発揮しているのだという確信をもつことができました。



中学校全体合唱

中学校の部では、中学3年生らしい迫力で、5校それぞれが練習の成果を発揮しました。最初の上島教育長の言葉にもあったように、「中3になって初めて市内の同級生全員と同じ時間・場所を過ごす」機会でもあり、互いの合唱を非常に興味深く見入る様子がうかがえました。卒業式まであとわずかとなり、3年間または9年間を共に過ごした仲間たちとの繋がりを感じながら、本当に気持ちのこもった素晴らしい合唱となりました。卒業式でも、今日の経験を生かし、各校に自分たちの気持ちをこもった歌声を残してくれるものと期待します。



**子育て支援研修講座全3回、
 家庭教育連続講座全5回を終了しました。**

今年度の「子育て支援研修講座」「家庭教育連続講座」は、11月12日(火)をもって計8回の講座を終了いたしました。毎回多くの方が熱心に参加していただき、知識を得るだけでなく、互いに自分が抱える悩みやうまくいった経験談を交流するなど、活発で有意義な研修講座となったように思います。毎回新たな気づきがあったり、わかっていただけ実行できていなかった自分に気付かされたり、発想や関わり方をリフレッシュしていただく貴重な機会となったというご意見やご感想が多く聞かれました。ぜひ、子育てや家庭教育に限らず、今後の感じ方や考え方に活かしていただければと思います。

子育て支援研修講座	
③ 10月17日(木)	講師：新山 君代 さん
	ビジョントレーニングの方法を実際に体験したり、子どもがプレッシャーを与えられることの辛さについて学んだりしたことによって、今後の子どもとの関わりについて考え直すきっかけとなることも多かったです。

家庭教育連続講座			
③ 9月10日(火)	④ 10月8日(火)	⑤ 11月12日(火)	
講師：松原 利子 さん	講師：山下 裕子 さん	講師：山下 裕子 さん	
			
子どもと視線を合わせ、話を最後まで聞くことや共感することを心がけ、親も自分が頑張っていることに対し、自分をほめることや「失敗もOK」など心の余裕の必要性を知りました。	全てに援助するのではなく、自分でできることは、見守り、時には我慢させることも必要。また、大人として周囲の人を「立てる」ことや、「背中を見せる」ことの大切さも学びました。	「揺れながら成長する心」というテーマで思春期に関する講座でした。反抗期なども成長の証です。子どもの想いに寄り添い、黙って見守り、子どもを信じて待つことの大切さを話してくださいました。	



後期も前期と同じく全8回実施します。

ばいっ子チャレンジ教室 後期がSTART!!



10月19日(土)、後期のばいっ子チャレンジ教室がスタートしました。各自で自分の目標設定(マイチャレンジ)を決め、その達成に向かって活動しています。

第3回(11月16日)には、紙ジェット機を作り、その飛ばし方を考える活動です。ただし、作る時も飛ばす時も、決められたルール

を守ることが一番のポイントです。指示があるまで飛ばさないことや、決められた順番やルートを守ることなどをしっかりできたようです。

できなかったことも、直せたときにほめることで、子どもたちは自信をつけていきます。



週末教育事業



ハロウィンランプ

10月19日(土)は、大きなカボチャをカッターナイフやスプーンで中身を切り抜き、中にろうそくを入れてランプを作りました。この大きなカボチャは、週末教育事業で講座を行っている教育専門員の先生方が畑で作ったものです。あまりの大きさに圧倒されながら、一生懸命掘っていました。カッターナイフを使うことに不慣れな人も多かったようです。

算数パズル

9月21日(土)

は、いろいろな計算の仕方や図形などを使ったクイズに挑戦しました。大人でもなかなか解けない問題があったり、「そんな方法で計算ができたのか」などの発見があったり、問題を解くことには苦心しながらも、みんな楽しみながら一生懸命に取り組んでいる様子うかがえました。自分の力で解けなかった時も、答を聞いて「なるほど! そうだったのか!」といった驚きの体験こそが、貴重な機会となったことと思います。当日は時間がなくて紹介できなかった問題の中からみなさんにも1問紹介します。ぜひ解いてみてください。

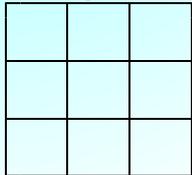


さあ、君もチャレンジだ!

大人もチャレンジ!

【問題】下にある9個のマスのに、1~9までの数字を入れて、たて・よこ・ななめの合計が同じになるようにしましょう。

Let's Try!



このようなものを「3方陣」と呼びます。難しい人は、「1~3までの数字を入れて、たて・よこ・ななめ全て合計が6になる」ものから始めてみましょう。

おたすけパーソン



真ん中に入る数字が何かポイントだよ!

Point

週末教育事業 教育専門員より



…みなさんの様子から

作業が順調に進んだかどうかや、問題が解けたかどうかよりも、粘り強く最後まで、できる限り自分の力でやり遂げようとする姿勢が大切です。その取り組み方こそが本当の力になっていくのです。

これを「非認知能力」または「ソフトスキル」と言い、数字などでは計れない総合的人間力のことです。これからの時代に重要視される力とされています。

図書館ボランティア 子ども読書推進活動研修講座 (全3回) が行われました。



絵本を見せながら

輪になって語りを聴く様子



9月・10月・11月に1回ずつ、講師に村上郁さんをお迎えし、子ども読書推進講座が行われ、毎回多くの方が有意義な時間を過ごしました。第1回と第2回では、昔話の語りや読み聞かせ、絵本を見せながら読むことの紹介、そして本の選び方など、丁寧に教えて下さいました。本は、自分が主人公となって追体験となるようなものが良いというお話も印象的でした。また、第3回では、実際に参加した人たちが実際に語りや読み聞かせに挑戦するといった、盛りだくさんの講座となりました。

